

2017年度 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社

2018年5月18日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2017年度 決算 概要

FUJIFILM

2017年度 業績 (2017年4月～2018年3月)

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	対2016年度	為替影響	為替影響除く
売上高	23,222 100.0%	24,334 100.0%	1,112 +4.8%	552	560 +2.4%
一時費用除く 営業利益	1,764 7.6%	2,007 8.2%	243 +13.8%	158	85 +4.8%
構造改革費用等 一時費用	41	700	659	0	659
営業利益	1,723 7.4%	1,307 5.4%	-416 -24.1%	158	-574 -33.3%
税金等調整前 当期純利益	1,948 8.4%	1,978 8.1%	30 +1.6%	102	-72 -3.7%
当社株主帰属 当期純利益	1,315 5.7%	1,407 5.8%	92 +7.0%	70	22 +1.6%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	296.27円	322.62円	26.35円		
ROE	6.5%	6.8%	+0.3%		
為替 : 米ドル	108円	111円	3円安		
為替 : ユーロ	119円	130円	11円安		

<その他増減要因 (対前年度) >
営業利益 原材料：-69億円

セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位：億円)

売上高	通期		対前年度		為替影響		為替影響除く	
	2016年度	2017年度						
イメージング	3,418	3,830	412	(+12.1%)	141	271	(+7.9%)	
ヘルスケア	3,840	4,430	590	(+15.3%)	89	501	(+13.0%)	
ヘルスケア&マテリアルズ	8,995	10,026	1,031	(+11.5%)	203	828	(+9.2%)	
ドキュメント	10,809	10,478	-331	(-3.1%)	208	-539	(-5.0%)	
合計	23,222	24,334	1,112	(+4.8%)	552	560	(+2.4%)	

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	通期		対前年度		為替影響		為替影響除く	
	2016年度	2017年度						
イメージング	368	560	192	(+52.0%)	64	128	(+34.7%)	
ヘルスケア	124	207	83	(+67.0%)	38	45	(+36.4%)	
ヘルスケア&マテリアルズ	830	928	98	(+11.8%)	62	36	(+4.3%)	
一時費用除く営業利益	827	840	13	(+1.6%)	33	-20	(-2.4%)	
ドキュメント	827	140	-687	(-83.1%)	33	-720	(-87.1%)	
全社/連結調整	-302	-321	-19		-1	-18		
合計	1,723	1,307	-416	(-24.1%)	158	-574	(-33.3%)	

3

セグメント別 概況

(単位：億円)

■ イメージング ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
3,830	412 (+12.1%)	560	192 (+52.0%)

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移。年度計画の750万台を上回る770万台を販売。「WALL DECOR」「フォトブック」などの付加価値プリントビジネスも堅調。
- ・ 電子映像では、2月発売の「FUJIFILM X-A5」や3月発売の「FUJIFILM X-H1」などのXシリーズ、大型センサー搭載中判ミラーレス「FUJIFILM GFX 50S」および交換レンズの販売が好調で大幅増収。
- ・ 光学デバイスでは、各種産業用レンズやシネマカメラ用レンズ「MKレンズ」シリーズの販売が好調に推移し、売上が増加。収益性が大きく改善。

電子映像事業の売上が大幅に増加
各事業も好調に推移し、増収大幅増益

4

セグメント別 概況

■ ヘルスケア&マテリアルズ
ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
10,026	1,031 (+11.5%)	928	98 (+11.8%)

(単位：億円)

- ヘルスケアで、メディカルシステムは、体外診断や医療ITなどすべての分野で販売が好調に推移。医薬品は、FF-10832の臨床第I相試験を本年5月から米国で開始するなどパイプラインの開発を着実に推進。診断薬・治療薬の新薬開発を加速させるため、富士化学工業を完全子会社化し、富士フイルムRIファーマと2018年10月付で統合することを決定。
- 高機能材料で、ディスプレイ材料は、在庫調整などの影響でタック製品の販売は減少したが、有機EL関連などの新規分野での販売が伸長。電子材料はフォトレジストやフォトリソ周辺材料の先端製品を中心に販売が好調に推移し、売上が増加。
- 記録メディアは、大容量データストレージ用磁気テープの在庫調整などの影響で売上が減少。グラフィックシステムは、製版・刷版材料の総需減により売上は減少。インクジェット事業はインクおよび産業用インクジェットヘッドなどの販売が好調に推移。

メディカルシステム事業・電子材料事業などでの販売好調に加え
各事業の収益性向上により増収増益

5

セグメント別 概況

■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
10,478	-331 (-3.1%)	140	-687 (-83.1%)

(単位：億円)

- オフィスプロダクト分野では、国内やオセアニア地域で複合機の販売台数が減少したが、欧米向け輸出や中国での販売が好調に推移し、全体の販売台数は対前年増加。オフィスプリンター分野では、低採算のプリンタービジネスの縮小により、販売台数が減少。
- プロダクションサービス事業は、年間の販売台数は減少したが、2017年11月に発売した高速・高画質のカラー・オンデマンド・パブリッシング機の販売が好調に推移。2018年2月には、モノクロ高速プロダクションプリンターのラインアップを一新し、売上拡大を目指す。
- ソリューション&サービス事業は、図面管理ソリューションなどの業種業務別ソリューションの販売が好調に推移したことに加え、既存のBPO契約に対する売上も堅調に推移したものの、会計処理の変更により売上は減少。

欧米向け輸出や中国での販売が好調だったものの、
低採算のローエンドプリンタービジネスの縮小等により減収
構造改革費用等一時費用の発生により減益

6

連結貸借対照表

(単位：億円)

	15年度末	16年度末	17年度末	対16年度末		15年度末	16年度末	17年度末	対16年度末
現金 及び現金同等物	6,009	8,760	7,682	-1,078	長短社債 及び借入金	3,657	5,588	4,542	-1,046
受取債権	6,436	6,358	6,191	-167	支払債務	2,571	2,579	2,485	-94
棚卸資産	3,492	3,392	3,613	221	その他流動 固定負債	4,572	4,484	4,915	431
その他流動資産	1,726	1,838	1,122	-716	負債計	10,800	12,651	11,942	-709
流動資産計	17,663	20,348	18,608	-1,740	株主資本計	20,148	20,436	20,791	355
有形固定資産	5,326	5,206	5,375	169	非支配持分	2,172	2,245	2,196	-49
営業権	5,069	4,998	5,916	918	純資産計	22,320	22,681	22,987	306
投資有価証券 その他資産	5,062	4,780	5,030	250	負債・純資産 合計	33,120	35,332	34,929	-403
固定資産計	15,457	14,984	16,321	1,337					
資産合計	33,120	35,332	34,929	-403					

(単位：円)

期末日 為替レート	15年度末	16年度末	17年度末	対16年度末
米ドル	113	112	106	6円高
ユーロ	128	120	131	11円安

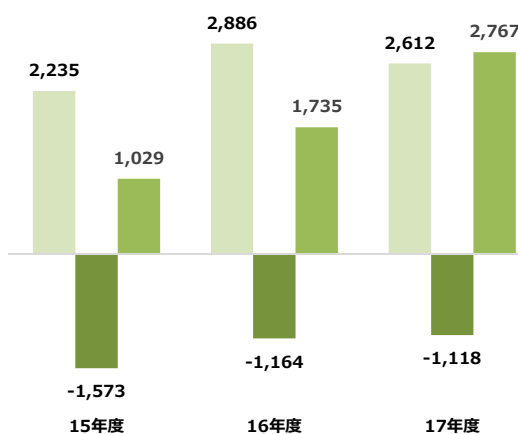
7

キャッシュ・フロー

(単位：億円)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー（事業買収除く）

(単位：億円)



	15年度	16年度	17年度
当期純利益	1,335	1,472	1,442
減価償却費	1,250	1,176	1,276
受取債権の増(-)減(+)	-201	34	413
棚卸資産の増(-)減(+)	58	49	-75
営業債務の増(+)-減(-)	17	57	-200
その他	-224	98	-244
営業活動によるCF	2,235	2,886	2,612
設備投資	-638	-746	-630
ソフトウェアの購入	-223	-223	-185
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	142	51	1,089
事業買収	-367	-13	-1,273
その他	-487	-233	-119
投資活動によるCF	-1,573	-1,164	-1,118
フリー・キャッシュ・フロー	662	1,722	1,494
事業買収除くフリー・キャッシュ・フロー	1,029	1,735	2,767

8

富士ゼロックスにおける構造改革

国内外10,000人の人員削減を含む構造改革の実施
 2019年度以降、550億円/年のコスト削減効果
 新たな成長領域における事業基盤の確立

前回	2017年度	2018年度	2019年度
構造改革費用等一時費用	490億円(下期) 570億円(通期)	170億円	60億円
効果	-	250億円	500億円

今回(5/18)	2017年度	2018年度	2019年度
構造改革費用等一時費用	700億円(通期)	250億円	60億円
効果	-	270億円	550億円
人員削減数	3,000人	4,000人	3,000人

2017年度 決算説明会

2018年度 業績予想

2018年5月18日

2018年度 連結業績予想 (2018年5月18日時点)

(単位：億円)

	2017年度	2018年度	対前年度
売上高	24,334 100%	25,100 100%	766 +3.1%
営業利益	1,307 5.4%	2,000 8.0%	693 +53.0%
税金等調整前 当期純利益	1,978 8.1%	2,050 8.2%	72 +3.6%
当社株主帰属 当期純利益	1,407 5.8%	1,300 5.2%	-107 -7.6%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	322.62円	302.16円	-20.46円
ROE	6.8%	6.2%	-0.6%
為替 : 米ドル	111円	110円	1円高
: ユーロ	130円	130円	-
銀価格 (/kg)	61,000円	62,000円	+1,000円

	2017年度	2018年度
一時費用除く 営業利益	2,007	2,250
構造改革費用等 一時費用	700	250
営業利益	1,307	2,000

* 2018年度 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円、ユーロ：8億円

11

2018年度 セグメント別業績予想 (2018年5月18日時点)

(単位：億円)

売上高	2017年度	2018年度	対前年度
イメージング	3,830	4,000	170 (+4.4%)
ヘルスケア	4,430	4,750	320 (+7.2%)
ヘルスケア&マテリアルズ	10,026	10,600	574 (+5.7%)
ドキュメント	10,478	10,500	22 (+0.2%)
合計	24,334	25,100	766 (+3.1%)

*セグメント間取引消去後

営業利益	2017年度	2018年度	対前年度
イメージング	560	600	40 (+7.1%)
ヘルスケア	207	210	3 (+1.4%)
ヘルスケア&マテリアルズ	928	910	-18 (-1.9%)
ドキュメント	140	820	680 (5.9倍)
全社/連結調整	-321	-330	-9
合計	1,307	2,000	693 (+53.0%)

	2017年度	2018年度
一時費用 除く 営業利益	840	1,070
構造改革 費用等 一時費用	700	250
営業利益	140	820

12

2018年度業績予想のポイント

イメージング ソリューション

フォトイメージングは、インスタントカメラ“チェキ”とチェキフィルムのインスタントフォトシステムを欧米に加え、新興国市場でも拡販し、収益を拡大。
光学・電子映像は、成長領域であるミラーレスのハイエンド機や、4Kや8Kに対応した放送用レンズなどの高付加価値製品に注力し収益性を向上。

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

メディカルシステムは、医療IT・内視鏡・超音波・IVD(体外診断)の分野で売上を拡大。バイオCDMO事業は、開発・生産体制を強化。
電子材料は、先端フォトリソ周辺材料などの販売を加速。
グラフィックシステム、産業機材などの各事業においても収益性を向上。

ドキュメント ソリューション

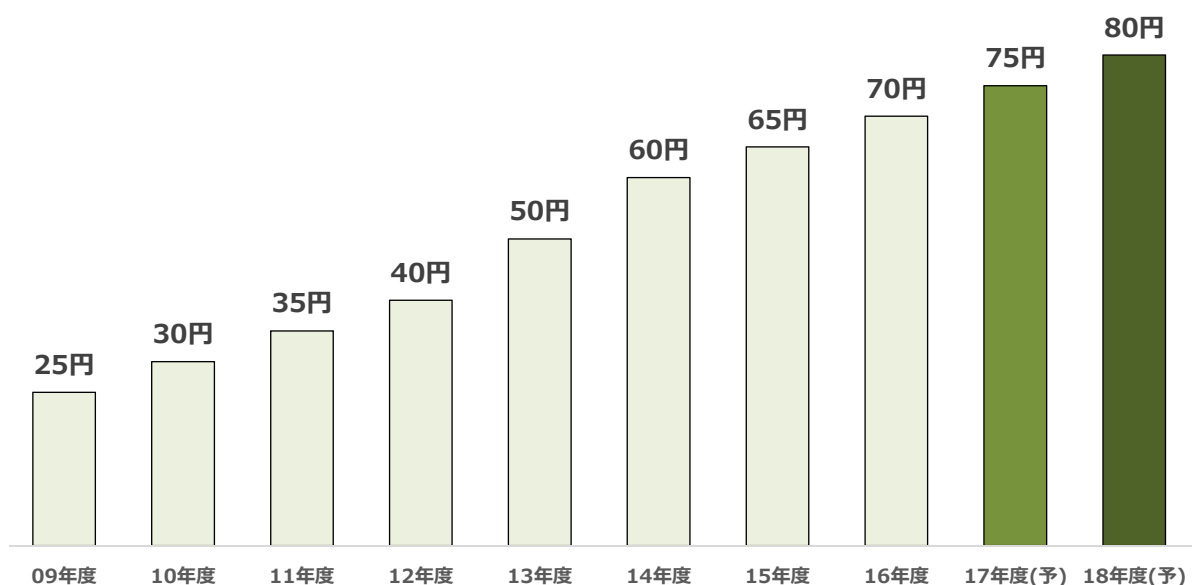
Smart Work Innovation戦略のもと、独自のAI技術とIoT・IoH^{*1}技術を活用した新たなサービスの提供や製品ラインアップ強化による売上成長に加え、RPA^{*2}を活用した生産性改善、および構造改革等の施策を進め収益性を改善。

*1:Internet of Human *2:Robotic Process Automation

株主還元

■ 配当金

2018年度の配当金は、9期連続増配となる対前年5円増配の80円/株を予定



ガバナンス強化の取り組みについて

ガバナンス強化の取り組み

- 新たに女性の社外取締役候補を選定
- 指名報酬委員会（任意）の設置を決定

社外取締役のさらなる積極活用により
取締役会審議の充実及び経営の意思決定の透明性を向上

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

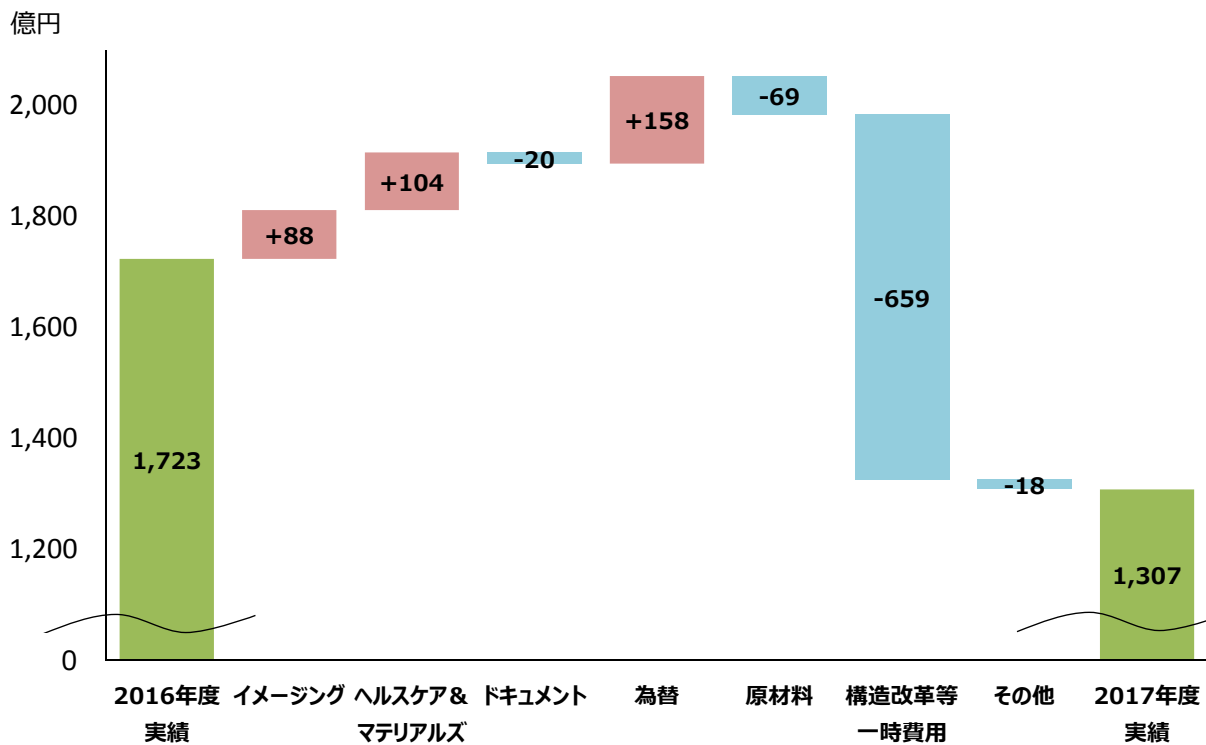
経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>

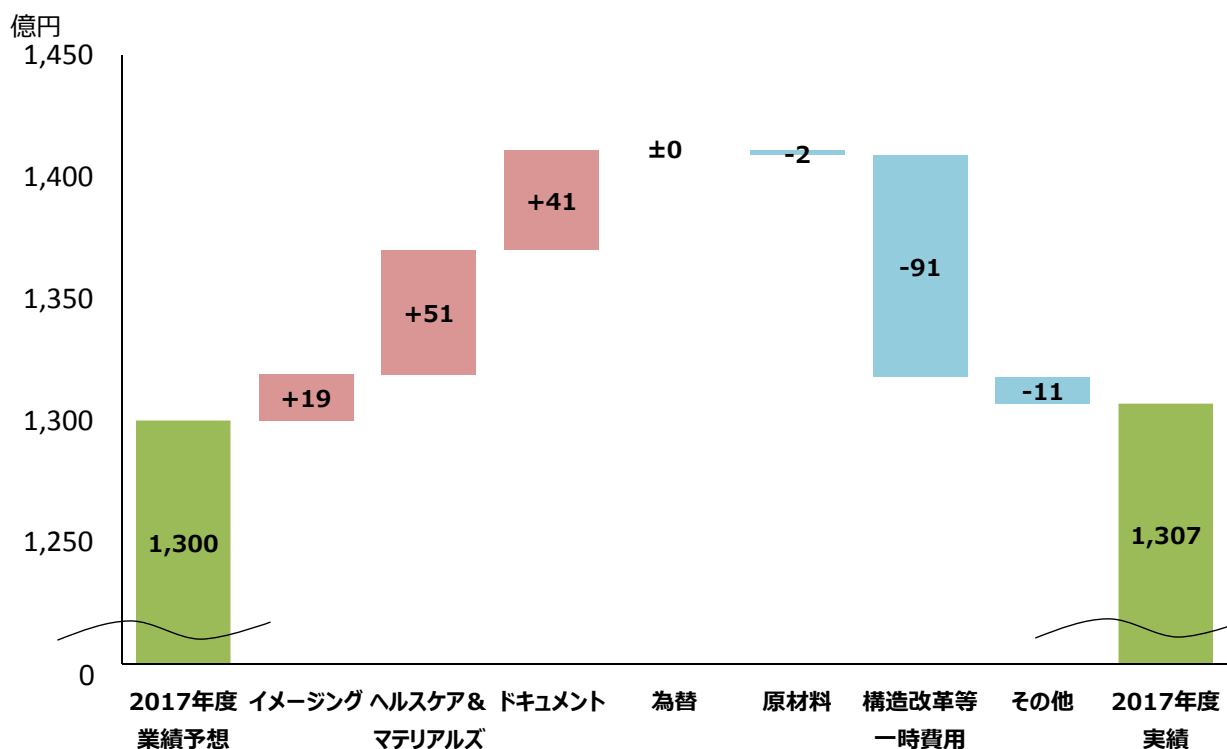
2017年度 決算説明会

参考資料

営業利益増減分析(通期 対前年実績)



営業利益増減分析(通期 対業績予想)



4Q/通期 業績

(単位：億円)

	2016年度4Q	2017年度4Q	対2016年度4Q	2016年度	2017年度	対2016年度
売上高	6,299 100.0%	6,237 100.0%	-62 -1.0%	23,222 100.0%	24,334 100.0%	1,112 +4.8%
一時費用除く 営業利益	540 8.6%	555 8.9%	15 +2.8%	1,764 7.6%	2,007 8.2%	243 +13.8%
構造改革費用等 一時費用	0	534	534	41	700	659
営業利益	540 8.6%	21 0.3%	-519 -96.1%	1,723 7.4%	1,307 5.4%	-416 -24.1%
税金等調整前 当期純利益	643 10.2%	233 3.7%	-410 -63.8%	1,948 8.4%	1,978 8.1%	30 +1.6%
当社株主帰属 当期純利益	528 8.4%	162 2.6%	-366 -69.3%	1,315 5.7%	1,407 5.8%	92 +7.0%
為替 : 米ドル : ユーロ	114円 121円	108円 133円	6円高 12円安	108円 119円	111円 130円	3円安 11円安

<その他増減要因 (4Q/通期 対前年度) > 営業利益 原材料 : -16億円 / -69億円

21

4Q/通期 業績

(単位：億円)

売上高	4Q			通期		
	2016年度	2017年度	対前年度	2016年度	2017年度	対前年度
イメージング	843	853	10 (+1.2%)	3,418	3,830	412 (+12.1%)
ヘルスケア	1,234	1,339	105 (+8.4%)	3,840	4,430	590 (+15.3%)
ヘルスケア& マテリアルズ	2,571	2,743	172 (+6.7%)	8,995	10,026	1,031 (+11.5%)
ドキュメント	2,885	2,641	-244 (-8.5%)	10,809	10,478	-331 (-3.1%)
合計	6,299	6,237	-62 (-1.0%)	23,222	24,334	1,112 (+4.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q			通期		
	2016年度	2017年度	対前年度	2016年度	2017年度	対前年度
イメージング	84 [9.9%]	60 [7.0%]	-24 (-29.0%)	368 [10.7%]	560 [14.5%]	192 (+52.0%)
ヘルスケア	110 [8.9%]	133 [9.9%]	23 (+21.0%)	124 [3.2%]	207 [4.7%]	83 (+67.0%)
ヘルスケア& マテリアルズ	273 [10.6%]	316 [11.5%]	43 (+15.9%)	830 [9.2%]	928 [9.2%]	98 (+11.8%)
一時費用除く営業利益	261 [9.0%]	269 [10.2%]	8 (+3.1%)	827 [7.6%]	840 [8.0%]	13 (+1.6%)
ドキュメント	261 [9.0%]	-265 -	-526	827 [7.6%]	140 [1.3%]	-687 (-83.1%)
全社/連結調整	-78	-90	-12	-302	-321	-19
合計	540 [8.6%]	21 [0.3%]	-519 (-96.1%)	1,723 [7.4%]	1,307 [5.4%]	-416 (-24.1%)

22

4Q(3ヶ月) セグメント別 ハイライト

イメージングソリューション

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移。
- ・ 電子映像では、2月発売の「FUJIFILM X-A5」や3月発売の「FUJIFILM X-H1」などのXシリーズや大型センサー搭載中判ミラーレス「FUJIFILM GFX 50S」および交換レンズの販売が好調。

ヘルスケア&マテリアルズソリューション

- ・ ヘルスケアで、メディカルシステムは、体外診断(IVD)システム、医療ITを始めとしたすべての分野で販売が好調に推移。バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移。2月に富山化学工業の医薬品生産拠点にリポソーム製剤の治験薬製造や商業生産を行う新工場の建設を決定。また、3月には、培地のリーディングカンパニー「Irvine Scientific Sales Company, Inc.」「株式会社アイエスジャパン」の買収を発表。
- ・ 高機能材料で、ディスプレイ材料は、有機EL関連などの新規分野での販売が伸長。産業機材は、「エクスクリア」の販売が好調。電子材料は先端フォトリソ周辺材料の販売が好調に推移し、売上が増加。

ドキュメントソリューション

- ・ 売上高は、中国での販売や欧米向け輸出が好調に推移したものの、低採算のプリンタービジネスの縮小やオセアニア地域での販売減少により減収。3月に新たな価値提供戦略として「Smart work Innovation」を発表、AIおよびIoT・IoH^{*1}技術を活用した新たなサービスを順次提供。
- ・ 営業利益は、構造改革費用等の一時費用の発生により減益。

*1:Internet of Human

23

4Q/通期 業績

イメージングソリューション

(単位：億円)

売上高	4Q				通期			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
フォトイメージング	539	546	7 (+1.3%)	12 (+2.2%)	2,368	2,554	186 (+7.8%)	95 (+4.0%)
電子映像	211	205	-6 (-2.9%)	-8 (-3.9%)	698	888	190 (+27.2%)	152 (+21.8%)
光学デバイス	93	102	9 (+9.7%)	9 (+9.8%)	352	388	36 (+10.4%)	24 (+6.9%)
光学・電子映像	304	307	3 (+0.9%)	1 (+0.3%)	1,050	1,276	226 (+21.6%)	176 (+16.8%)
合計	843	853	10 (+1.2%)	13 (+1.5%)	3,418	3,830	412 (+12.1%)	271 (+7.9%)

*セグメント間取引消去後

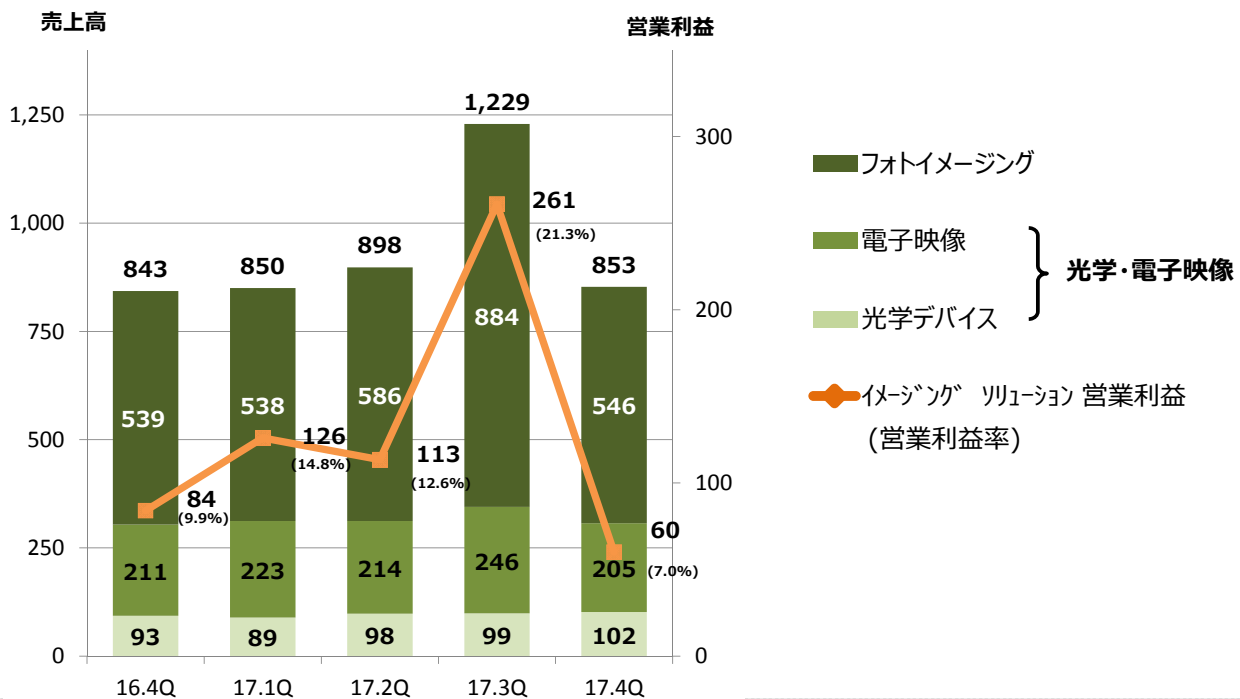
(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q				通期			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
イメージング	84 [9.9%]	60 [7.0%]	-24 (-29.0%)	-27 (-32.1%)	368 [10.7%]	560 [14.5%]	192 (+52.0%)	128 (+34.7%)

24

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

イメージングソリューション (単位: 億円)



4Q/通期 業績

ヘルスケア&マテリアルズソリューション

(単位: 億円)

売上高	4Q				通期			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	1,234	1,339	105 (+8.4%)	105 (+8.3%)	3,840	4,430	590 (+15.3%)	501 (+13.0%)
ディスプレイ材料	220	213	-7 (-3.3%)	-7 (-3.3%)	978	944	-34 (-3.5%)	-34 (-3.5%)
産業機材/電子材料 ファインケミカル	305	446	141 (+46.4%)	151 (+49.9%)	1,111	1,730	619 (+55.8%)	587 (+52.9%)
高機能材料	525	659	134 (+25.6%)	144 (+27.6%)	2,089	2,674	585 (+28.0%)	553 (+26.5%)
記録メディア	131	100	-31 (-22.7%)	-26 (-19.3%)	476	404	-72 (-15.0%)	-81 (-16.9%)
グラフィックシステム/インクジェット	676	642	-34 (-5.0%)	-34 (-5.0%)	2,558	2,509	-49 (-1.9%)	-119 (-4.7%)
その他	5	3	-2	-5	32	9	-23	-26
合計	2,571	2,743	172 (+6.7%)	184 (+7.1%)	8,995	10,026	1,031 (+11.5%)	828 (+9.2%)

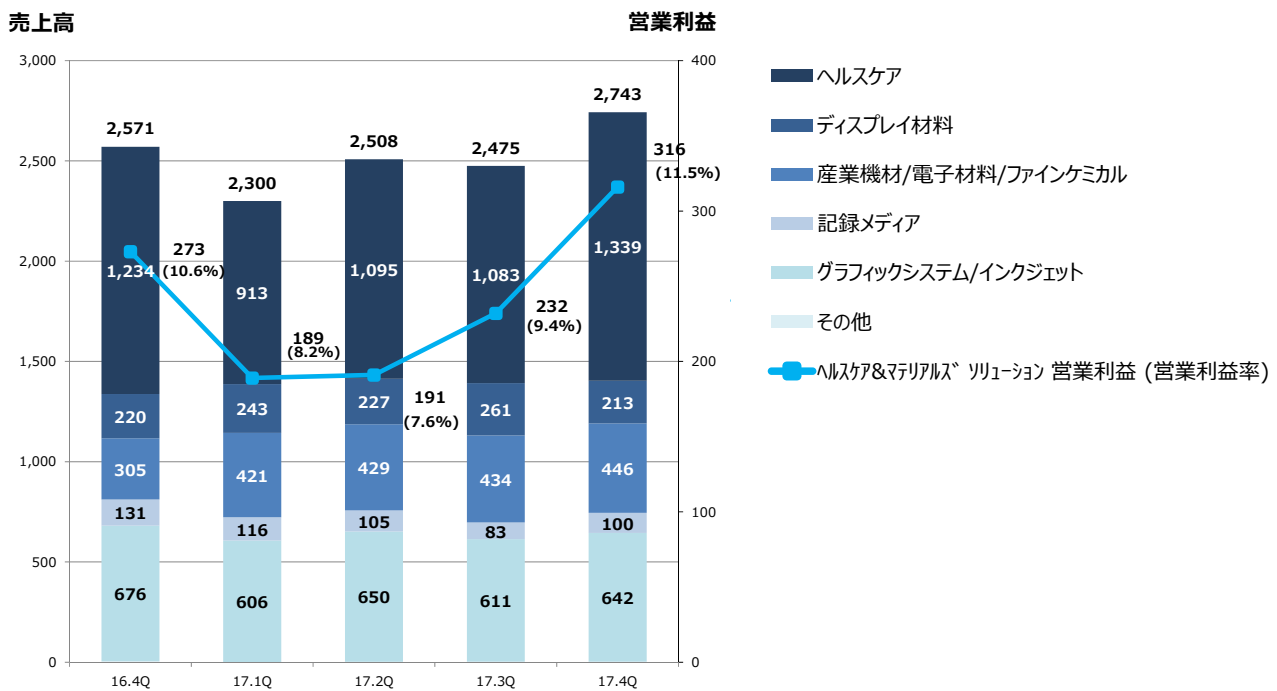
*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q				通期			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	110 [8.9%]	133 [9.9%]	23 (+21.0%)	15 (+13.7%)	124 [3.2%]	207 [4.7%]	83 (+67.0%)	45 (+36.4%)
ヘルスケア&マテリアルズ	273 [10.6%]	316 [11.5%]	43 (+15.9%)	41 (+15.0%)	830 [9.2%]	928 [9.2%]	98 (+11.8%)	36 (+4.3%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション (単位: 億円)



4Q/通期 業績

ドキュメント ソリューション

(単位: 億円)

売上高	4Q				通期			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
オフィスプリンター	425	393	-32 (-7.8%)	-27 (-6.7%)	1,621	1,513	-108 (-6.7%)	-139 (-8.6%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,608	1,534	-74 (-4.6%)	-80 (-5.0%)	6,240	6,100	-140 (-2.2%)	-243 (-3.9%)
プロダクションサービス	367	329	-38 (-10.3%)	-43 (-11.6%)	1,366	1,310	-56 (-4.1%)	-83 (-6.1%)
ソリューション&サービス	764	649	-115 (-15.1%)	-120 (-15.8%)	2,640	2,562	-78 (-3.0%)	-132 (-5.0%)
その他	146	129	-17 (-11.7%)	-20	563	506	-57 (-10.0%)	-81
合計	2,885	2,641	-244 (-8.5%)	-263 (-9.1%)	10,809	10,478	-331 (-3.1%)	-539 (-5.0%)

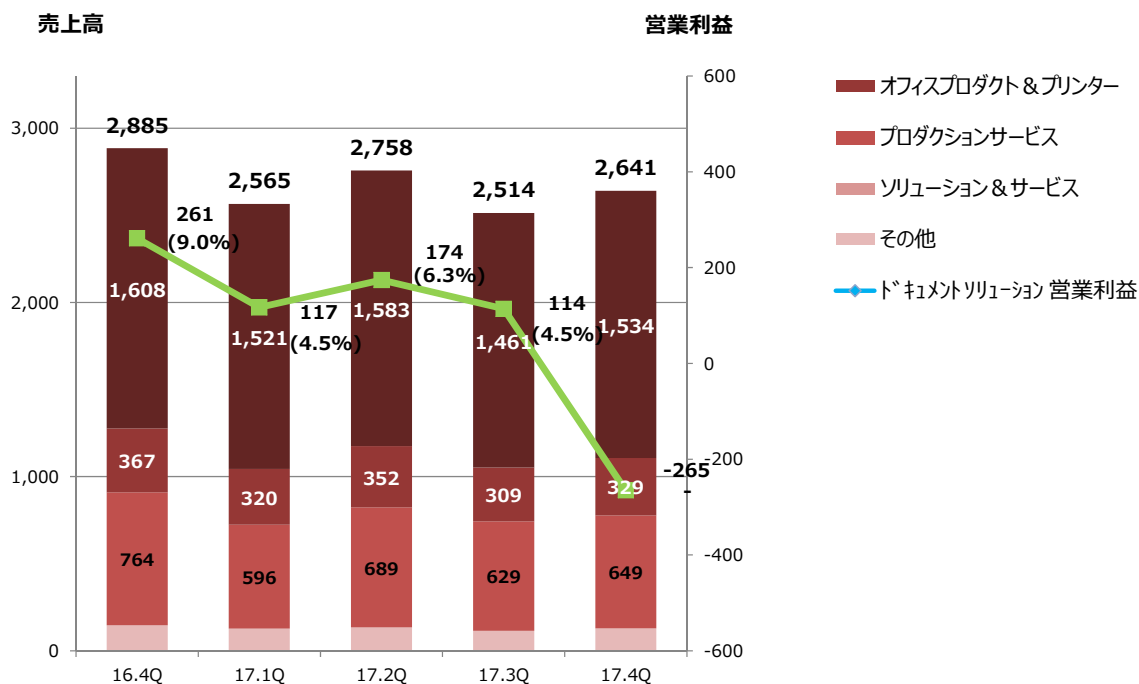
* セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q				通期			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
一時費用除く営業利益	261 [9.0%]	269 [10.2%]	8 (+3.1%)	-18 (-6.9%)	827 [7.6%]	840 [8.0%]	13 (+1.6%)	-20 (-2.4%)
ドキュメント	261 [9.0%]	-265	-526	-552	827 [7.6%]	140 [1.3%]	-687 (-83.1%)	-720 (-87.1%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメントソリューション (単位: 億円)



29

国内・海外別連結売上高

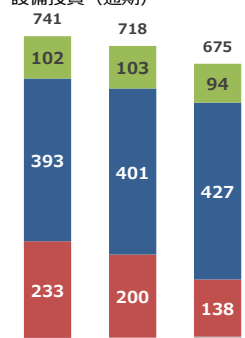
(単位: 億円)

	2016年度		2017年度		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	41.5%	9,627	41.4%	10,065	438	(+4.5%)
米州	19.4%	4,504	19.0%	4,628	124	(+2.8%)
欧州	11.8%	2,739	12.9%	3,153	414	(+15.1%)
内、中国	11.8%	2,745	12.2%	2,961	216	(+7.9%)
アジア他	27.3%	6,352	26.7%	6,488	136	(+2.2%)
海外	58.5%	13,595	58.6%	14,269	674	(+5.0%)
合計	100.0%	23,222	100.0%	24,334	1,112	(+4.8%)

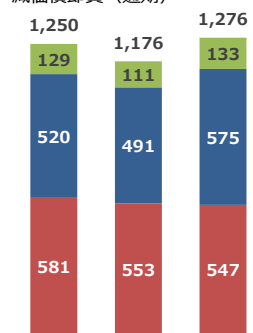
30

設備投資、減価償却費

設備投資（通期）



減価償却費（通期）



15年度 16年度 17年度

(単位：億円)

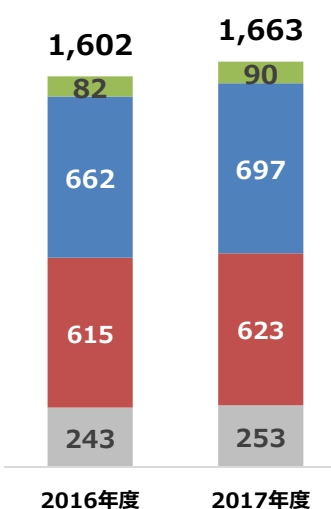
年度	4Q			通期			通期
	2015	2016	2017	2015	2016	2017	2018 (予想)
イメージング	33	29	32	102	103	94	
ヘルスケア&マテリアルズ	180	154	154	393	401	427	
ドキュメント	60	51	19	233	200	138	
コーポレート	2	5	7	13	14	16	
設備投資 ※	275	239	212	741	718	675	800
イメージング	44	23	35	129	111	133	
ヘルスケア&マテリアルズ	131	114	147	520	491	575	
ドキュメント	163	139	138	581	553	547	
コーポレート	5	5	3	20	21	21	
減価償却費	343	281	323	1,250	1,176	1,276	1,190
有形固定資産の減価償却費 ※	185	152	171	658	589	665	

※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル資産を除く。

- イメージングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費（通期）



2016年度 2017年度

(単位：億円)

年度	4Q		通期		
	2016	2017	2016	2017	2018 (予想)
イメージング	21	27	82	90	
ヘルスケア&マテリアルズ	179	187	662	697	
ドキュメント	140	210	615	623	
コーポレート	62	70	243	253	
研究開発費	402	494	1,602	1,663	1,610
<売上高比>	6.4%	7.9%	6.9%	6.8%	6.4%
販売費及び一般管理費	1,516	1,900	5,981	6,730	
<売上高比>	24.0%	30.5%	25.8%	27.7%	

- イメージングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

為替、原材料価格、人員

為替

(単位：円)

	2016年度					2017年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
米ドル	108	102	110	114	108	111	111	113	108	111
ユーロ	122	114	118	121	119	122	130	133	133	130

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2016年度					2017年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
銀	57	63	59	63	59	63	60	61	58	61

人員

(単位：人)

	2017.3末	2017.6末	2017.9末	2017.12末	2018.3末
連結	78,501	80,672	80,315	80,067	77,739

2016年度4Q決算における過年度修正

(単位：億円)

	修正前 2016年度4Q	2016年度4Q	対修正前 2016年度4Q
売上高	6,299 100.0%	6,299 100.0%	0
営業利益	552 8.8%	540 8.6%	-12
税金等調整前 当期純利益	655 10.4%	643 10.2%	-12
当社株主帰属 当期純利益	523 8.3%	528 8.4%	+5
為替 : 米ドル	114円	114円	/
: ユーロ	121円	121円	

2018年度 連結業績予想 (2018年5月18日時点)

(単位：億円)

	2017年度	2018年度 上期	2018年度 下期	2018年度	対前年度
売上高	24,334 100%	11,900 100%	13,200 100%	25,100 100%	766 +3.1%
営業利益	1,307 5.4%	750 6.3%	1,250 9.5%	2,000 8.0%	693 +53.0%
税金等調整前 当期純利益	1,978 8.1%	790 6.6%	1,260 9.5%	2,050 8.2%	72 +3.6%
当社株主帰属 当期純利益	1,407 5.8%	460 3.9%	840 6.4%	1,300 5.2%	-107 -7.6%

35

パイプライン (2018年5月18日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本	承認済み
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬		米国	Ph III
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認申請中
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	Ph III
ITK-1	去勢抵抗性前立腺がん治療薬	注射	日本	Ph III
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph I
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリポソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II

※持分法適用会社の協和キリン富士フイルムバイオロジクス (FKB) のFKB327 (アダリムマブバイオシミラー) は、欧州申請中。FKBとアストラゼネカ社のJ VのFKB238 (パバシズマブバイオシミラー) は、米国、欧州、その他でPh III実施中。

36

ガバナンス強化の取り組み

新任社外取締役候補者の略歴

江田 麻季子 氏

(一般社団法人世界経済フォーラムJapan 日本代表)

<略歴>

早稲田大学、米国の大学院を経て、調査機関等で勤務。

2000年にインテル株式会社へ入社。その後、マーケティング本部長として、ブランド戦略などを統括。

2010年8月より2013年9月まで、香港を拠点にインテルのアジア太平洋地域のマーケティング活動を指揮。

2013年10月より2018年3月まで、インテル株式会社の代表取締役社長を務めた。

2018年4月に一般社団法人世界経済フォーラムJapan 日本代表に就任。

また、2016年9月より内閣府規制改革推進会議委員を務めている。

参考情報

富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

富士フイルムホールディングス 統合報告書2017

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_library/integrated_reports/index.html

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- 2016年 12月 医薬品・再生医療事業説明会
- 2017年 3月 エレクトロニクスマテリアルズ (EM) 事業説明会
- 2018年 3月 イメージングソリューション事業説明会

富士フイルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>